

2024年度 事業活動報告書

報告日付：2025年3月31日

事業完了日付：2025年3月31日

事業ID：2024002183

事業名：愛媛県今治市における「子ども第三の居場所」（B）

コミュニティモデルの運営と車両整備（3年目）

団体名：特定非営利活動法人チャレンド

1.事業内容

①愛媛県今治市における「子ども第三の居場所」（B）コミュニティモデルの運営

（1）期間：2024年4月1日～2025年3月31日（週6日、10時～17時まで開所）

（2）場所：愛媛県今治市蒼社町1丁目5番50号

（3）対象：20名（家庭や自身に課題を抱えた小中高生中心）

（4）内容：子どもとの1対1の関係を重視しながら、子どもたちの生活習慣形成や学ぶ意欲向上を支援することで社会的相続を補完する。子ども食堂と連携した調理実習、学習支援、就労相談を行う。

②愛媛県今治市における「子ども第三の居場所」（B）コミュニティモデルの車両整備

（1）整備車両：乗用1台 日産セレナ

（2）整備状況：利用児童送迎のための整備

（3）定員：8名

2.事業内容詳細

①様々な課題を持つ児童に対して、1対1のオーダーメイドの支援を行うことで、学校でも、家でもない第3の居場所としての役割を果たす。高頻度でイベントを行うことで、事前と体験機会の獲得に繋がる運営を目指す。

他、SNSにて事業内容を公開 下記URL参照

<https://www.instagram.com/imariba424/>

②日産セレナを送迎用車両として購入

送迎を利用することで、より遠方の屋外イベントを行うことができるようになった。

必要に応じて、児童を送迎することもできるようになり、支援の幅が広がった。

写真9参照

2. 契約時事業目標の達成状況

【助成契約書記載の目標】

- ・2025年3月31日までに1日平均利用児童数を15名にする
- ・ボランティア等の地域住民や、行政、学校との関係構築、多世代交流機会の提供
- ・子どもの「経験の不足」を解消するような定期的なイベントを事業期間内に12回実施する
- ・面倒を見るだけの居場所ではなく、貴重な経験を得られる場所という認識も周知できるような居場所にする

【目標の達成状況】

【1. の達成状況】

四半期毎の一日平均利用児童数

2025年3月31日までに1日平均利用児童数を15名にする

四半期毎の一日平均利用児童数

①4月～6月 3名 ②7月～9月 7名 ③10月～12月 6名 ④1月～3月 5名
年間平均 5.25人

目標数値を下回る利用者数にはなったが、前年度より1, 5人ほど増えている。

次年度は、前年度と同じイベントを行うだけでなく、より多方面からの利用者獲得に繋がるよう新たな媒体での広告、新たなイベントを企画していきたい。

また、ニーズに合わせた開所時間の調整や他利用企画の刷新など行っていきたい。

【2. の達成状況】

関係を構築した主な機関

- ・登録児童が通う立花、常盤小学校、日吉、立花中学校
- ・今治市役所子ども未来課、ネウボラ政策課、生涯学習課・民生委員
- ・児童相談所・市議会議員・近隣の高校、大学・地域の住民の方々・今治市の子ども食堂
- ・里親支援センター

児童のショートステイの依頼や、不登校児童に子ども食堂を紹介して頂くなど、より良い関係性を築くことができた。

閉所日には、連携機関と協力し、里親サロン、不登校児童に悩む親の為のサロンなど、開催した。

【3. の達成状況】

月3回ペースでのイベントの実施、内12回「経験の不足」の解消ができるようなイベントを開催することが出来た。

行ったイベントの一例

- 1.絵本の読み聞かせ会
- 2.定期的に行っている公園での野外活動の一例
- 3.ネットトヨタ見学会 4.映画観賞会
- 5.今治FC サッカー選手とのサッカー教室
- 6.ハロウィンイベント 7.定期開催の調理実習の一例
- 8.凧揚げ体験

1



2



3



4



5



6



7



8



9



以上